

【学力向上具体的な方策】

- 1 活気のある学校へ→活気のある授業へ
学校あげての挨拶、返事の向上の重視
- 2 学習規律の徹底
 - 学習を成立させる規律
 - ・けじめある授業の終始の挨拶 ・机上の学習用具 ・学習用具の共通理解
 - ・正しい姿勢 ・どこに視線をもっていくか（教師の目線も含めて）
 - ・聞き方
 - 学力向上のための規律
 - ・反応・・・ハンドサインの導入、返事
 - ・板書やノートに係る共通理解
- 3 授業改善
 - 指導と評価の一体化・・・現在の評価に係る研修の時間の設定
指導に生かす評価、記録に残す評価の意識
→C段階の児童、A段階の児童への手立て
 - 『めあて』『まとめ』はもちろん『ふりかえり』の重視
自分が『何がわかったのか』『何ができるようになったのか』『どのようにわかったのか』『友達のどこを取り入れたいか』等
→そのためには、やはり『めあて』『まとめ』が大事
 - 『めあて』を『Let's型』から『How to型』へ
・・・課題解決意識の向上
 - 『一人学びの時間』の確保
 - ペア学習、トリオ学習、グループ学習を意図的に取り入れる。
 - ・子どもを生かす授業
 - ・教師が話しすぎない、説明しすぎない。
 - 『説明し合う』場面を積極的に取り入れる。：特に算数において
 - ・まねることも可。・理解が深まる。※自分の口で説明できることを目指す。
 - 算数における練習問題の時間の確保
 - 一人一台端末の活用・・・他校の実践より学び、吸収
校内研修での各自の取組の紹介、伝達
アプリ等の使用方法、授業での利用に係る現職教育、
常時教職員交流
- 4 基礎学力の向上
 - スキルタイムの漢字検定
 - 言葉や文法に係るワークプリントやアシストシートの積極的な使用と繰り返し
 - 年間読書冊数の目標設定 ○音読の重視
 - タブレットを使ったタイピング練習によるローマ字の力の向上
 - ※学力調査問題の反復学習
- 5 その他
 - 無解答をなくす・・・通常の授業やテストでも意識させる。
 - 普段の授業に条件付き作文（字数制限、使用語句）、時間制限を取り入れる。
 - 支援体制の充実
 - ほめる指導の重視・・・自己肯定感を高める